

青葉区中山地区民生委員児童委員協議会

(平成 27 年 2 月)

1. 中山地区（地域）について

中山地区（地域）は仙台青葉区の北西部に位置し、中世より中山峠、中山街道（根白石街道）と呼ばれてきた丘陵地です。太古の昔から山林であり、中山鳥滝不動尊を中心とする霊地でした。昭和 39 年ころより宅地造成が始まり、山の斜面を切り崩して造成した団地で、坂道や崖地が多くあります。坂があるゆえに醸し出される眺望はいいものの、とかく坂道は、足腰に堪え、生活していく上で坂道と共存する「坂の街」とも言えます。

バス通りを中心に商店街があり、左右に住宅が広がっています。坂の上部には、大中のマンション 7 棟と公務員住宅 10 棟が建設されています。

2. 被災状況と復旧

震災後、小・中学校に避難所が設置されました。ライフラインも断たれ、3・4 日後に給水車が手配されました（中山入口付近の一部で水が出たところもありました）。その後電気・水道が復旧しガスも供給されました。

地域内は、土砂崩れ、道路陥没、地割れ、地滑り、ブロック塀崩壊亀裂が数十か所あり、小学校も校庭の陥没、一部建物被害を受けました。

特に、中山二丁目、五丁目、滝道地区において 62 箇所の宅地が被災しました（平成 23 年 5 月仙台市都市整備局）。平成 26 年 11 月現在の仙台市宅地復旧公共事業において、地区による 6～8 割が完了しており、5 丁目は完成しています。

3. 震災後の民児協活動

震災直後には各委員が自主的に安否確認や弁当、食料、水、日用品の配布、その他の支援を行ないました。避難所運営等の支援や町内会災害対策会議に関わった委員もいました。

3 月 14 日に地区民児協定例会を開いて、委員 15 名全員の安否確認と情報交換を行ないました。

また、震災 10 日後には、高齢者のその後の状況を把握するため、各委員が一斉安否確認訪問を行ないました。

4. 関係機関との協働活動

5 月 29 日、地区社協主催の「仙台フィルの皆様による復興コンサート」が小学校において開催され、各委員も協力を行ないました。

その後は、平常に戻りつつあるなかで、「ふれあいサロン」「子育てサロンすくすくキッズ」「地区育児支援フェスタ」や「昼食会」も開きました。

また、仙台市が開催した被災者対象の「カフェサロン」にも数回出席しています。

毎年2回、3月11日と10月に地区社協福祉委員、ボランティアと共に、小地域福祉ネットワーク「見回り訪問活動」を一斉に行なっています。

さらに毎年、「市民センターまつり」において、民児協活動を展示、紹介しています。

5. 今後の活動について

公務員住宅やアパートなどに入居している被災者を含めた安否確認訪問活動や災害時要援護者支援についても町内会と連携して行なうことにしています。災害時対応は連合町内会の方針に協力することとしています。

また、日常の活動は、地区社協、赤十字奉仕団や町内会とも協働しています。「見回り訪問活動」および「ふれあいサロン」「子育てすくすくキッズ」「地区育児支援フェスタ」や「昼食会」は、継続して開催していく予定です。